

## 令和 3 年度第 1 回美化センター運営委員会（書面会議）

## 議題内容説明補足資料

はじめに

新型コロナウイルス感染拡大防止のため本運営委員会を書面開催としたため、各議題についての説明補足資料としてご参照ください。

議題 1：美化センターの運営状況について

頁	項目	内 容
1～2	搬入量内訳	<p>寒川及び茅ヶ崎市から美化センターに搬入されたし尿及び浄化槽汚泥の量を掲載しています。</p> <p>1 頁は令和 2 年度実績となります。</p> <p>令和 2 年度搬入量は寒川町分 2,518,490ℓ、茅ヶ崎市分 9,073,850ℓで両市町合計 11,592,340 kℓとなり前年度と比較し 50,630ℓと微増しています。</p> <p>また、令和 2 年度の搬入量割合は寒川町 21.7%、茅ヶ崎市 78.3%となりました。</p> <p>2 頁は令和 3 年度 2 月末現在の実績となります。</p> <p>表下、備考のとおり令和 2 年度分については比較しやすいよう同じく 2 月分までの実績を掲載しています。</p> <p>令和 3 年度は令和 2 年度と比較し、寒川町分 139,030ℓ減、茅ヶ崎市分 237,780ℓ減となっており、両市町で 376,810ℓ減となっています。</p>
3～4	搬入車両台数	<p>寒川町及び茅ヶ崎市からし尿等を搬入したバキュームカーの延べ台数を記載しています。</p> <p>3 頁は令和 2 年度実績で、両市町合計 7,691 台となり前年度と比較し、71 台増加しています。</p> <p>また、4 頁は令和 3 年度 2 月末現在の実績となります。備考のとおり令和 2 年度の数値は 2 月分までとなっており、令和 2 年度の同一期間と比べますと両市町合計で 140 台の減となっています。</p>

頁	項目	内 容
5～6	運転状況	<p>月別運転状況について記載しています。</p> <p>5 頁は令和 2 年度実績、6 頁が令和 3 年度 2 月分までの実績となります。</p> <p>また用語解説は次のとおりです。</p> <p>搬 入 量：美化センターに搬入されたし尿及び浄化槽汚泥の量</p> <p>投 入 量：搬入されたし尿等からごみなどを取り除き受入・貯留設備から一次処理設備へ移送させた量</p> <p>放 流 水 量：適正処理後、下水道放流基準を満たす水質であるか検査した上で、公共下水道へ放流している水量</p> <p>電力使用量：施設運営及び処理に用いる電力使用量</p> <p>上水使用量：施設運営及び処理に用いる上水使用量</p> <p>用水使用量：希釈等洗浄処理に使用するための地下水の汲み上げ量</p> <p>し渣搬出量：搬入されたし尿等から取り除かれたごみの搬出量。 茅ヶ崎市環境事業センターに搬出</p> <p>汚泥搬出量：処理により発生した脱水汚泥の搬出量 民間企業で資源化を実施。</p> <p>薬品使用量：脱臭及び脱水処理に使用する各種薬品使用量</p>
7～8	年報比較	<p>稼働当初からの年報を掲載しており、令和 3 年度は 2 月末現在の値となっています。</p> <p>なお、用語については上記運転状況と同様です。</p> <p>長期的な傾向としては搬入量の減少に伴い、多くの項目で減少傾向にあります。</p>

頁	項目	内 容
9～10	水質検査結果	<p>放流水及び脱水汚泥の水質検査結果を掲載しています。9 頁は令和 2 年度、10 頁は令和 3 年度 2 月分までの検査結果です。</p> <p>各化学記号等の名称は表の下に記載のとおりで、放流基準値を表下段に示していますが、全て下水道放流基準を満たす結果となっており、公害のない衛生的な処理を行っています。</p>
11～12	脱水汚泥放射性物質検査結果	<p>搬出している脱水汚泥について、放射性物質検査を年 4 回実施しており、11 頁は令和 2 年度、12 頁は令和 3 年度 12 月までの検査結果です。</p> <p>全ての検査結果で放射性物質は検出されていません。</p>
13～14	経費負担金額比較	<p>美化センター稼働時からの両市町の運営費用負担金と搬入量になります。</p> <p>長期的な傾向として搬入量は減少傾向にありますが、運営費用については近年施設維持に係る整備費等の増加に伴い増加傾向となっています。</p>

## 議題 2：し尿処理広域化可能性の検討状況について

美化センターは平成 7 年 1 2 月の施設稼働より 2 5 年以上が経過し、計画的に修繕等を行い維持管理しているものの、老朽化が進行し改修等を検討しなければならない時期である一方、稼働当初と比べ下水道普及等の影響により搬入量は減少傾向にあり、また浄化槽汚泥の割合が増加していることから搬入物の性状も当初とは異なり、施設の在り方について検討を進める時期にあります。そのような中で、同様の状況にある藤沢市も含めた「湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議」において藤沢・茅ヶ崎及び寒川地域におけるし尿処理広域化の可能性について今年度、調査検討を進めているところです。

次年度の運営委員会において検討結果のご報告をさせていただき、

委員の皆様からのご意見を頂きながら、

まずは湘南東ブロックごみ処理広域化調整会議において、

し尿処理広域化の基本方針について策定を進めていきたいと考えておりますので

ご意見、ご提案等ございましたらよろしく申し上げます。

なお、湘南東ブロック管内の既存し尿処理施設の配置図については、

資料 2：湘南東ブロック管内既存し尿処理施設配置図をご参照ください。